

シラバス参照

科目名	特別支援教育(R5認定通信)	
学習方法	テスト	
単位数	2	
専攻・コース	幼稚園教諭免許法認定通信教育	
履修年次	-	
科目担当者	鳥海 順子 義永 睦子	
スクーリング担当者	-	
メディア授業担当者	-	
レポート添削担当者	-	
到達目標	<p>この科目では、特別支援教育についての基本的考え方を理解し、障害を持つ子供の育ちおよび学習を支援する方法についての基礎知識を習得することを目的とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害をもつ子供に接するとき私たちが無意識にもつ考え方を意識化して捉え、障害を多面的に捉えられるようになる。 2. 障害をもつ子供の保育・教育について、基礎知識を修得する。 3. 母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性について理解する。 4. 統合保育や小学校、中学校、高等学校における特別支援教育における子供たちの育ちの様子や支援の方法、保育者・教師の在り方、他機関との連携についての理解を深める。 	
授業計画	<p>第Ⅰ部 特別な教育的ニーズの捉え方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別な教育的ニーズの基礎知識 2. 特別支援教育の歴史的視点 <p>第Ⅱ部 特別な教育的ニーズの理解と支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 視覚障害・聴覚障害の理解と支援 2. 知的障害の理解と支援 3. 肢体不自由の理解と支援 4. 病虚弱の理解と支援 5. 自閉症の理解と支援 6. ADHDの理解と支援 7. 学習障害の理解と支援 <p>第Ⅲ部 特別な教育的ニーズに対する教育的支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達とアセスメントの基礎知識 2. 乳幼児期の支援 3. 学童期以降の支援 4. 特別支援学校の教育的支援 5. 個別の教育支援計画等の理解と作成 6. 様々な特別な教育的ニーズのある子供と保護者への支援 	
成績評価の方法	<p>a.学習方法ごとに「単位認定試験(100%)により評価する」</p> <p>b.その他</p> <p>2回のエクササイズ合格(60%以上の正解)を経て受験する単位認定試験(100%)により評価する。</p> <p>※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果(50%)とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果(50%)を合計して評価する。</p>	<p>○</p>
実践的教育を行う授業科目の種別	<p>a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> <p>○</p> <p>担当教員の実務経験(経歴・資格等)</p> <p>鳥海順子 略歴 山梨大学教授(教育人間科学部附属教育実践総合センター)、山梨大学教育人間科学部障害児教育講座教授、山梨大学教育学部附属特別支援学校校長を歴任。ガイダンスカウンセラー、学校心理士、養護学校教諭一級普通免許、幼稚園教諭二級普通免許、小学校教諭二級普通免許、中学校教諭二級普通免許。</p> <p>義永睦子 略歴 特別支援学校勤務経験、家庭児童相談室・保育園巡回心理相談・保健センター乳幼児相談の心理相談員経験、幼稚園教諭現職研究会講師、保育園障害児保育現職研究会講師経験。 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、保育士資格、臨床心理士資格。</p> <p>授業内容との関連性</p> <p>子どもの心身及び発達特徴、集団生活、家庭生活全般のアセスメント、及び、それらを基盤とした子どもの理解と特別支援教育の展開、学校内外における連携に関する実務経</p>	<p>○</p>

	験
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	